

美唄市立東中学校のホームページによるこそ

昭和 58 年 4 月、生徒数の激変による通学区域変更に伴い、学校名を東明中学校から東中学校に改称し、「美唄市立東中学校」が誕生しました。前年の 8 月に現在の校舎が完成し、本校の前身である東明中学校が移転し、現在に至っています。

今年度、本校は開校 38 年目を迎えます。この間、築き上げてきた歴史の上に様々な足跡を刻みながら、よき伝統を創り上げてきました。また、ふるさと美唄や北海道、或いは日本全国、さらには世界を舞台に活躍する人材を育成・輩出し、世に送り出した卒業生は 4,667 人、東明中学校卒業生を加えると一万人を超えます。平成 30 年度には、本校に学校運営協議会が立ち上がり、コミュニティ・スクール（地域とともにある学校づくり）をスタートさせました。

本校の歴史と伝統を継承し、それらをさらに発展させるために、本校教職員の英知を結集し、家庭や地域のお力をお借りしながら、「ONE TEAM（ワンチーム）」となって、保護者や地域の期待に応え、信頼される学校づくりに努めていきたいと思ひます。

東中をご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

校長 木村尚之

東中教育目標

- 進んで学習し、高い知性を求める生徒
- 心豊かで、明るく生き抜く生徒
- 進んで身体を鍛え、勤労に励む生徒
- 社会生活の向上を目指し、正しく行動する生徒

経営方針

★目指す学校像 ～信頼される学校づくり

- 子どものよさや可能性を引き出し、伸ばす学校
- お互い切磋琢磨して、「生きる力」をはぐくむ学校

★目指す生徒像

- 目標を持ち、主体的に学び考え、積極的に課題に取り組む生徒
- 心のこもった挨拶ができ、他者を尊重し、多様性を認め、思いやりのある生徒
- 心も体も健康でたくましく、自ら人のために尽くそうとする生徒
- 社会（集団）の一員として自覚し、自律心を持って行動する生徒

★目指す教師像

- 教えるプロとして研鑽に励み、実践的な指導力を身に付けた教師
- 生徒理解に努め、生徒と信頼関係を築ける教師
- 家庭・地域と信頼関係を築き、連携を図れる教師

東中プロジェクト 2020” 三本の矢 “

「主体性を持って、共に学び合い、高め合う生徒の育成」

～自立（よりよく生きよう）と共生（共に伸びよう）～

- 一本目の矢→その子も満足度が高く、相互尊重の精神溢れる学級づくり
- 二本目の矢→学びに向かう雰囲気醸し出す学習規律の徹底
- 三本目の矢→学ぶ楽しさやおもしろさを生む授業づくり